

事例紹介シート

(様式 1)

記入日：令和 2 年 5 月 13 日

1. 事業所名（事業名）

川崎市わーくす大師（就労移行・就労継続B型・就労定着）

2. 主な対象者（知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害等）

知的障害・発達障害

3. 週間スケジュール ※時間・内容を自由に記載ください

曜日 時間	内容				
	月	火	水	木	金
9:00 ～ 12:00	電話連絡（AM） 個別課題	電話連絡（AM） 個別課題	電話連絡（AM） 個別課題	電話連絡（AM） 個別課題	電話連絡（AM） 個別課題
昼食					
13:00 ～ 16:00	電話連絡（PM） 個別課題	電話連絡（PM） 個別課題	電話連絡（PM） 個別課題	電話連絡（PM） 個別課題	電話連絡（PM） 個別課題

4. 支援内容

1) 訓練の内容 ※訓練で使用している具体的な内容をご紹介します

ツール	内容（課題の内容・使い方）	時間	結果
電話連絡 （AM・PM）	体温・体調・睡眠の確認、家庭での様子、課題の進捗の確認など。 事前に、在宅生活中の目標を設定し、目標が達成できているかも確認。	各5分	1日2回の支援にストレスを感じる利用者もあり、状況によって1日1回の支援にしている。 電話対応のビジネスマナーの指導ができています。
ペン字練習	文章のなぞり書き、自分の名前や住所の清書など		自分の氏名や住所などは、契約時の署名などにも活用できそう。
コグトレ	施設でこれまでも取り組んでいたコグトレのワークシートに取り組む		問題のレベルを、利用者の状況に応じて配布したこともあり、自宅でも一人でも取り組んでいる。
漢字のぬり字	小学生レベルの学年毎の漢字がぬり字になっているシートを活用し、漢字のぬり分けをする。		漢字練習を希望する利用者は多いが、ドリルよりもぬり字なので、作業として取り組める利用者が多かった。
これまでの作業 や実習の振り返	学校時代や施設利用してから体験した作業・実習の種類、その中で得意や苦手だった作業		自分の得意な作業・苦手な作業の振り返りから、履歴書や職務経歴

り	について振り返り		書の作成に生かす。
履歴書・職務経歴書の作成	履歴書のフォームに沿って必要事項を記入する。		就職を控えている利用者にとってのモチベーションにつながった。
家の手伝い	洗濯・掃除・調理など、自宅での家事をおこなう		生活力の向上と家族とのコミュニケーションに役立った。

2) フォローアップの方法

①訓練課題

- 事前に在宅で過ごす際の目標を設定している。一人ひとりの課題に合わせた目標を設定することで、達成後困難になることはない。
- 日々の電話連絡で進捗の確認や、わからなかったところなどを確認し、質問に答えている。

②就職活動支援

- 自分のこれまでの就職歴や実習歴、施設内での作業体験を振り返り、履歴書作成の参考資料作りなどを進めて、就職へ向けたモチベーションを維持している。
- 6月1日に採用が決定している利用者に対しては、本人・確認をして、5月下旬から時間を短縮して通所再開し、就職へ向けた生活リズムの回復に取り組む予定。

③生活支援

- 日常生活と課題のチェックシートを作成し、体温や睡眠時間の記入をすることで体調の変化に気づけるようにしている。同じシートを施設でも電話連絡時に記入し、特に単身生活している利用者や、家族による支援が難しい利用者の体調変化の確認は、入念に行っている。

④その他

- 対象が、知的障害者が多い施設ではあるが、LINEなどのオンラインでの支援がどこまで可能か、アンケート調査を行った。
- 家庭に電話や携帯電話がない利用者については、施設近隣に在住のため、施設での作業は行っていないが、徒歩で通所して来所面談で対応している。
- コロナに関する施設の対応などの情報は、随時お便りを作成し各家庭に郵送している。

5. その他

- 原則として、各利用者に対して1日2回の電話連絡をしているが、川崎市は、必ずしも1日に2回の電話連絡が求められていないため、状況に応じて、1日1回の連絡にしている利用者もいる。(1日2回の電話対応がストレスになって電話そのものに出なくなってしまう人もいる。)
- 在宅期間が長くなるにつれ、ストレスを抱えている利用者も増えてきており、5月から、電話対応だけでなく、希望をする人を対象に、週に1回程度の来所面談や、LINEなどを活用したオンライン面談も開始した。

※参考になる資料等で掲載可能なものがあれば、添付いただければと思います。よろしくお願いいたします。

記入者： 小川 卓